

# 家具を正しくお使いいただくために

## 全商品に対して

- 廃棄する時は専門業者におまかせください。焼却すると有毒ガスが発生することがあります。
- 家具の使用にあたっては取扱説明書をよく読み、正しく使ってください。
- 取扱説明書は大切に保存してください。
- 商品に貼ってある表示シールは正しい使用方法を説明するものなので、絶対にはがさないでください。
- 事務用家具は室内用です。屋外での使用は故障やサビの原因となるのでやめてください。
- 家具を設置する時は、家具の水平を保つように調整してください。水平が保たれず設置すると、水平のゆがみ、可動部の操作不良、施錠の不備など、使用上の支障をきたすことがあります。
- 以下の場所では使わないでください。変形、変色の原因となります。
  - 直射日光や熱があたる場所
  - 湿気、乾燥の著しい場所
- ストーブや火のそばに近づけて使用しないでください。火災になることがあります。
- 用途以外で使わないでください。ケガをすることがあります。
- 乱暴な取り扱いはしないでください。破損、故障によりケガをすることがあります。
- ボルトやネジがゆるんだまま使わないでください。本体が壊れてケガをすることがあります。早めに増締をしてください。
- 可動部のすきまに手をいれないでください。ケガをすることがあります。
- 分解や改造はしないでください。破損やケガをすることがあります。
- コンセントに規定容量以上の電気製品を接続しないでください。コードなどの加熱により発火することがあります。
- 以下の使い方はしないでください。電気ショートによって発火することがあります。
  - 配線コードを傷つける
  - コンセントに水をかける
  - コンセントに異物やゴミを入れる
- 異常を発見したまま使わないでください。本体が壊れてケガをすることがあります。
- 異常がある場合は使用を中止し、弊社担当者に品名・故障の内容をご連絡ください。
- 商品を第三者に譲渡する場合は、取扱方法をよく説明してください。

## デスク／テーブル

- 天板の固定は確実に行ってください。天板がはずれてケガをすることがあります。
- 天板に耐荷重以上の物を乗せないでください。天板のたわみによって落下することがあります。
- 耐荷重以上の物を置かないでください。倒れてきてケガをすることがあります。
- 本体や引出しの上に乗らないでください。転倒してケガをすることがあります。
- キーボード天板に座らないでください。天板が壊れてケガをすることがあります。
- ワゴンやキャスター付デスクを踏み台や台車かわりに使用しないでください。転倒してケガをしたり、故障の原因となります。
- 引き出した引出しに手などで力を加えないでください。倒れてきてケガをするおそれがあります。
- ファイル引出し2段ワゴンは、上段に荷重が集中した状態で引き出すと、前方に傾くおそれがあります。
- 耐荷重以上に収納しないでください。(棚板・引出しが)落下してケガをすることがあります。
- 危険物(壊れ物、薬品、生き物など)を収納しないでください。人体や衣服などを傷つけることがあります。
- 貴重品を保管しないでください。鍵を破壊されて盗まれることがあります。
- 引出し側面より高く物を入れないでください。収納物がこぼれ落ちたり、引出しが閉まらないことがあります。
- 引出しが完全に閉まっていないと、施錠できない場合があります。
- 引出しを引いたまま施錠状態で引出しを閉めると、鍵や引出しを破損するおそれがあります。
- 引出しが施錠された状態で無理に引き出すと、鍵や引出しを破損するおそれがあります。
- 引出しのレールや可動部に油をささないでください。油がたれて床や衣類を汚す原因となります。
- 操作する時には手を可動部からはなしてください。可動部に手をはさまれてケガをすることがあります。
- 組み上げた後のロックを不完全なままで使用しないでください。倒れてきてケガをすることがあります。
- 自立型でないミーティングテーブル、エンドテーブルを使用する場合、転倒防止のため必ずデスクと連結してください。
- 移動する時は施錠し、テーブルなどで引出しを固定してください。落下した引出しでケガをすることがあります。
- (キャスター付テーブルなどの)移動は必ず長手方向に行ってください。倒れてきてケガをすることがあります。

## チェア

- 滑りやすい床面で使わないでください。転倒してケガをすることがあります。
- ガスをプリングは分解、注油しないでください。爆発してケガをすることがあります。
- ガスをプリングは火に入れないでください。高圧ガスが爆発してケガをすることがあります。
- 事務用チェアは必ず室内で使ってください。
- 事務用チェアは以下の場所では使わないでください。故障やサビの原因となります。
  - 屋外
  - 高温、多湿なところ
  - 水中や水のかかるところ
  - 直射日光やストーブなどの熱が直接あたる場所
- 段差、傾斜のある場所では使わないでください。転倒してケガをすることがあります。